

瑞牆山金峰山山行報告書

M3 田中李樹

○日程

2014年5月31日(土)～6月1日

○参加者(敬称略4名)

M3 田中 C1 奥野 上村 田尻

○行程

一日目

荏崎 10:00～(タクシー)～10:50 瑞牆山荘～11:45 富士見平小屋(荷物をデポ)12:30～14:30 瑞牆山頂 15:30～16:45 富士見平小屋(テント泊)

二日目

富士見平小屋 06:00～07:00 大日小屋～07:30 大日岩～09:30 金峰山山頂 10:30～12:30 富士見平小屋(テントを回収)13:00～14:00 瑞牆小屋(解散)

○本文

テント泊練習のため、瑞牆山金峰山での山行を企画した。下級生にテント装備の使い方を教えるのが目的のためC1が3名も参加してくれたのは嬉しいのだが、間を4学年も飛ばして上級生が自分だけというのはどうなることやらと一抹の不安を抱え出発した。

荏崎駅からはタクシーで移動し、登山開始。地図を見てわかってはいたが最初ののぼりがなかなかハード。ゆっ



くり登っていく。途中で、木々の合間から瑞垣の独特の山様が見える。テントを張る富士見平小屋には1時間で到着した。高校山岳部出身の小松君以外はテントの立て方を知らなかったのも、ゆっくり丁寧にテント設営。二張りテントが完成し今回の山行の目的は既に半分達成。

寝袋などをデポし、再び登山開始。瑞垣山頂までは岩だらけの道が続くが、特に問題なく通過した。登山ツ

アーが人気の山域らしく、30人規模のパーティーと複数遭遇した。あの規模に山岳ガイド2人で統制がとれるのかと心配になる。



山頂は狭かったが、見事に晴れ八ヶ岳やアルプス、明日登る金峰山などが見事に見えていた。自分は、金峰山の上の五疊岩は狸の形に見えると思うのだが、C1の皆様にはいまいち賛同を得られなかった。

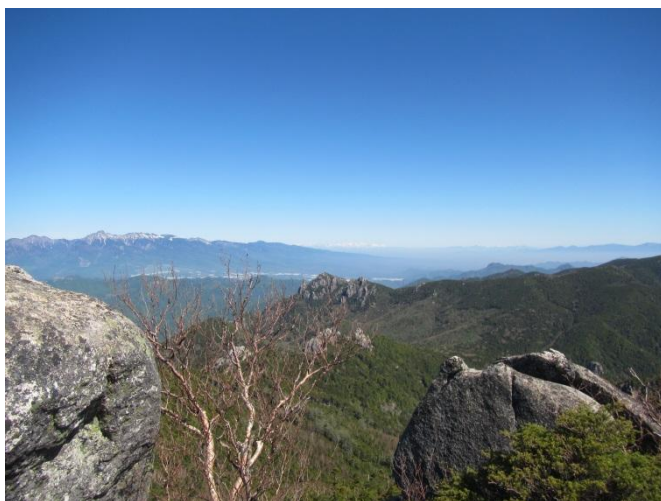
再び巨大パーティーに遭遇しないよう、暫く山頂でのんびりしてから下山開始。シャクナゲを見たり、渡渉点で水遊びしたりしながらテント場に戻る。帰りは行きよりずいぶん早かった。そのまま夕食をとって就寝。





翌日も見事に
晴れ。ほぼ予定通
りの時間に出発
した。途中までは
木立の中を歩き、
時折小さな雪溪
もあった。

暫く歩き続けると尾根筋に出た。この
日も素晴らしい展望。昨日は見えなかつ
た富士山もしっかり見えていた。



気持ちの良い尾根を歩くとすぐに山頂に到着した。ここは多くの登山客でにぎわっていた。天気の良いので1時間ほどのんびりして下山開始した。今回も下山はハイペースで予定より早く富士見平小屋に戻った。放置していたテン



トを撤収して、瑞垣小屋に戻る。帰りはバスを利用して駅まで帰った。

天候に恵まれ、素晴らしい山行になった。C1の皆さんも是非また山行に参加してほしい。

